

茶郷川治水協議会会報

第32号

令和3年11月25日 発行
発行元 茶郷川治水協議会事務局
(小千谷市建設課)

一級河川茶郷川改修に関する要望書を提出

茶郷川の改修につきましては、現在新潟県が河川整備計画の原案を作成しておりますが、このまま治水対策が進捗せずに、近年頻発しておりますゲリラ豪雨・線状降水帯の発生による過去に経験のない洪水が発生すれば、沿川の住宅などに甚大な被害を受けることが想定されます。

このことを鑑み、「一級河川茶郷川改修に関する要望書」を会長・副会長が10月25日(月)に県議会議員の宮崎悦男氏も同席いただき、新潟県長岡地域振興局地域整備部長に手渡し、下流域の整備のみならず中流域に及ぶ範囲の早期河川改修を要望してきました。

県長岡地域振興局地域整備部長は、「状況は認識しており、茶郷川の河川整備計画の原案も中流域まで検討している状況である。」との説明がありました。

新潟県知事 花角 英世 様

要 望 書

一級河川茶郷川改修に関する要望 (小千谷市地内)

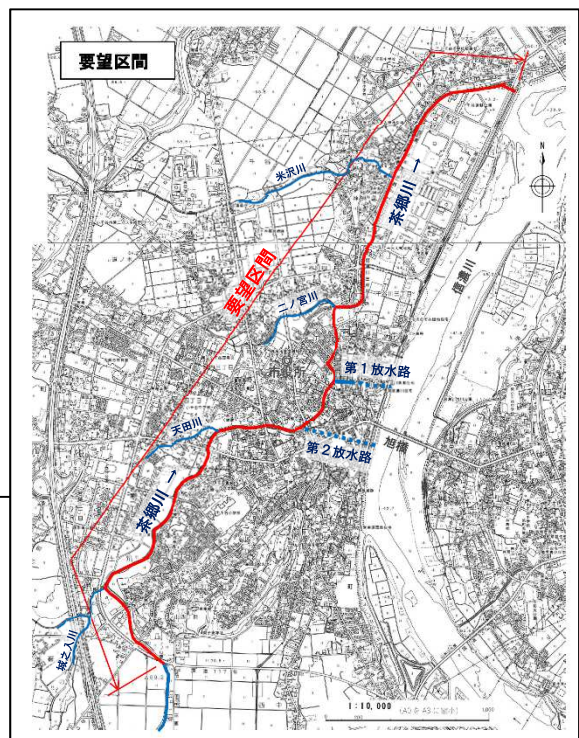
平素は、一級河川茶郷川の河川整備計画の原案作成など、治水対策にご尽力いただき感謝申し上げます。

本市の市街地を縦貫している茶郷川は、平成23年7月に発生した新潟・福島豪雨では、過去に例を見ない洪水が発生し、沿川の住宅や企業に未曾有の被害をもたらしました。また、平成29年7月にも豪雨に見舞われ、茶郷川流域で建物の床上・床下浸水の被害が発生しました。

気候変動の影響により、近年はゲリラ豪雨・線状降水帯による過去に経験のない洪水被害が頻発しております。茶郷川においても、このまま治水対策が進捗せずに同様の豪雨が発生すれば、沿川の住宅などに甚大な被害を受けることは明白であり、沿川住民、関係者一同、下流域の改修のみならず中流域に及ぶ範囲の早期改修を強く要望します。

令和3年10月25日

茶郷川治水協議会 会長 大塚 昇 一 (小千谷市長)



令和3年度視察研修を実施

11月16日(火)に、参加者24名で信濃川左岸流域農業水利事業1号幹線用水路1号トンネル建設工事現場を視察してきました。

当日は、事業の概要や工事の概要の説明を受け、深さ13.7mの発進立坑(三仏生地内)に降り、トンネルの内部を見学しました。現在は発進立坑より約900m地点まで掘り進んでいるようです。

この工事により、懸案であった既設1号幹線用水路と一級河川茶郷川が分離されることとなりますが、工事現場を見学することにより実感してきました。既存の1号幹線用水路1号トンネルについては、千谷川一丁目地内の一部が排水先として現在使用していることから、存続を検討しているところです。

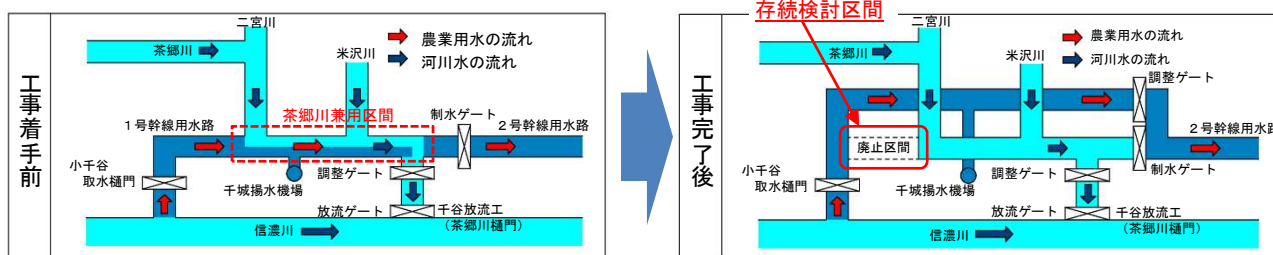
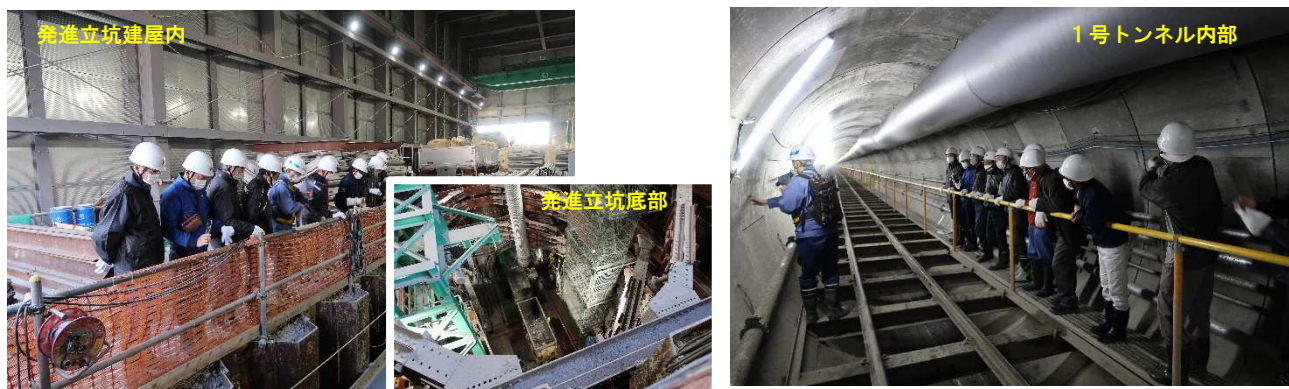


図 1号幹線用水路の模式図 (出典：北陸農政局)

茶郷川樋門洪水発生時初期対応訓練を実施

小千谷市主催により、国土交通省信濃川河川事務所越路出張所、新潟県長岡地域振興局小千谷維持管理事務所、信濃川左岸土地改良区の協力のもと、10月8日(金)に千谷運動公園隣接の茶郷川樋門で、本年度2回目の洪水発生時の初期対応訓練が行われ、樋門操作と排水ポンプ車による排水訓練を行いました。

